

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実
 基本事業 健康と食育の充実

事業名 **学校給食食器更新事業**

[0805]

部名	教育部	事業開始年度	平成19年度	実施計画事業認定	非対象
課名	給食センター	事業終了年度	21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市内小・中学校児童生徒等</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>安心、安全で使いやすく、且つ、綺麗な食器で喫食することにより、食事の楽しさ等を通じ健康維持と豊かな心を育成する。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>給食用食器の更新。 H19年度は小皿及び箸を小中学校同時に更新。 H20年度は中皿を高強度磁器食器に更新。 食器検討委員会の開催。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	11,204	10,941	10,674	
対象指標2						
活動指標1	食器更新数	個	13,000	13,000	13,000	
活動指標2						
成果指標1	残食率	%	18.8	19.2	19.7	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	8,443	6,870	0	0
正職員人件費 (B)		千円	8,374	8,358	0	0
総事業費 (A) + (B)		千円	16,817	15,228	0	0

費用内訳	
21年度	

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

学校給食法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

給食を喫食するために必要な皿及び箸の更新。
安心、安全で使いやすい、綺麗な食器を通じ、食事の楽しさ喜びを知り、健康面での貢献も多大である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

安心、安全で使いやすい食器を使用することで、食事の楽しさの一環を担っている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

経年劣化による食器を更新することで
児童生徒に安心して安全な給食を供給できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

給食を喫食するために最低限必要な皿及び箸の更新である。
箸の持参が実現すると、コスト削減が可能となる。